

【2024年版】

男女に働き 輝きのある暮らし

農山漁村パートナーシップの推進

- 農山漁村の男女共同参画社会の発展に向けて -



農山漁村パートナーシップ推進宮城県大会 宣言 農山漁村に住む人、関わる人みんなが、自分らしく輝けるよう このつながりの中で生きていることに感謝し、互いを認め合うことを宣言します。

「農山漁村女性の日」の趣旨に基づき開催している農山漁村パートナーシップ推進宮城県 大会は、今回で29回目を数えます。

農林水産省が令和2年に取りまとめた報告書では、女性のさらなる活躍を持続的に推進し、すそ野を広げるための対策として、農村の意識改革、女性の学び合い・グループ活動の活性化、地域をリードする女性農業者の育成等が提言されています。

県においても、令和3年度から5年間の「第4次宮城県男女共同参画基本計画」を策定し、女性をはじめとしたあらゆる人たちが、自分らしくいきいきと生活していける社会の実現を目指し、県民の皆様と連携しながら、男女共同参画に関する施策に積極的に取り組んでいるところです。

男女共同参画を地域やパートナーとともに推進していただくことで、さらなる農林水産業の発展とあわせ、女性が働きやすい社会の実現に一歩近づくことを期待しています。

宮城県知事 村井 嘉浩

| | 男女共同参画の指標(農林水産分野)

(1) 男女共同参画基本計画(第5次)(令和2年閣議決定)

成果目標の動向より抜粋

令和5(2023)年4月30日時点

	項目	目標値(2025年)	計画策定時の数値	最新值
_	農業委員に占める女性の割合			
	女性委員が登用されていない 組織数	0	273/1,703 (2019年度)	243/1,697 (2022年10月)
	農業委員に占める女性の割合	20%(早期)、更に 30%を目指す	12.1% (2019年度)	12.6% (2022年10月)
	農業協同組合の役員に占める女性の	D割合		
	女性役員が登用されていない 組織数	0	107/639 (2018年度)	93/569 (2021年度)
	役員に占める女性の割合	10%(早期)、更に 15%を目指す	8.0% (2018年度)	9.3% (2021年度)
	土地改良区(土地改良区連合を含む。)の理事に占める女性の割合			
	女性理事が登用されていない 組織数	0	3,737/3,900 (2016年度)	4,060/4,276 (2021年度)
	理事に占める女性の割合	10%	0.6% (2016年度)	0.6 % (2021年度)
	認定農業者数に占める女性の 割合	5.5%	4.8% (2019年3月)	5.1% (2022年3月)
	家族経営協定の締結数	70,000件	58,799件 (2019年度)	59,515件 (2021年度)

(2) 宮城県男女共同参画基本計画(第4次) 及び宮城県が農林水産分野で令和4年5月に設定した目標値(*)

成果目標の動向

令和5(2023)年12月時点

項目	目標値(期限)	計画策定時の数値	最新値
家族経営協定の締結数	770件	736件	812件
	(2025年度)	(2020年度)	(2023年3月)
農業委員に占める女性の割合	30%	16.4%	20.3%
	(2025年度)	(2019年度)	(2023年11月)
農業協同組合の役員に占める	15 %	9.8%	10.8%
女性の割合(*)	(2025年度)	(2021年度)	(2023年7月)

🤰 データで見る宮城県の女性の活躍

(1) 家族経営協定締結数

都道府県名	令和 4 年度末 (R5.3.31)	令和3年度末 (R4.3.31)	増減
青森県	1,331 戸	1,306 戸	25
岩 手 県	2,022 戸	2,049 戸	▲ 27
宮城県	812 戸	774 戸	38
秋田県	683 戸	682 戸	1
山形県	1,062 戸	1,058 戸	4
福島県	1,085 戸	1,090 戸	 5
東北計	6,995 戸	6,959 戸	36



【農業委員】女性委員登用促進要請(R5気仙沼市)

(2) JA運営への参画(目標値は第29回JA全国大会決議)

項目	実績(R5.7.31現在)	目標
正組合員に占める女性の割合	24.2%	30%以上
総代に占める女性の割合	9.9%	15%以上
役員に占める女性の割合	10.8%	15%以上

(3) 農業委員会への女性委員登用促進(みやぎアグリレディス 21)

項目	実績(R5.10.31現在)	目標
女性の農業委員数	88人/434人	(2人以上/1農業委員会)
女性の農業委員の割合	20.3%	30.0%
女性の農地利用最適化推進委員数	22人/378人	(2人以上/1農業委員会)

(4) 漁協運営への参画(宮城県漁業協同組合)

項目	実績(R5.10.31現在)	目標値
漁協正組合員に占める女性の人数	40人/2,273人	120人
漁協正組合員に占める女性の割合	1.75%	5.0%
漁協支所運営委員に占める女性の人数	1人/283人	3人

農山漁村女性の経営参画・社会参画に向けて

(1) 家族経営協定を締結しよう

家族経営協定とは、経営方針や役割分担、働きやすい就業環境などについて家族で話し合い、決定して文書化、実践するものです。

締結により家族それぞれが責任ある経営者として位置づけられ、認定農業者への共同申請、農業者年金保険料に国の補助が受けられる制度があります。各農業改良普及センターで相談を受け付けています。



R5女性の社会参画に関する懇談会

(2) あなたも農業委員会で活躍しませんか!!

各市町村の農業委員会では、「農地等利用の最適化」を進めるとともに、行政機関への意見の提出、地域計画策定への参画・支援等をしています。計画の策定には女性を含めた、地域に関わる多様な人の視点を取り入れることが、地域農業の維持と活性化につながります。

農業委員・農地利用最適化推進委員の任期は3年です。市町村ごとに募集の時期は異なり、広報やホームページ等で広く募集されています。

宮城県内の農業委員会女性委員が結成している「みやぎアグリレディス21」は、女性委員登用に向けた活動を行う他、女性委員の情報共有ができる場として、地域懇談会や、農業委員会業務等に関する研修会を開催して交流しています。

(3) 認定農業者の共同申請をしよう

認定農業者制度は、農業経営改善計画を市町村が基本構想に照らして認定するものです。効率的かつ安定的な経営を目指す方なら、性別、専業・兼業の別等を問わず、どなたでも認定を受けることができます。また、家族経営協定を締結すれば、家族の全員が認定を受ける対象となります。

認定農業者になると、その計画達成に向けて、長期・低利の資金の借入や農地のあっせんなどの様々な支援を受けることができます。

農山漁村女性のネットワークを広げよう

自分の活動に関連する分野の知識を広げるために、地域等で開催される研修会や交流会イベントに 参加しませんか。

そこで知り合った仲間とネットワークの輪を広げることも、女性の活動しやすい環境づくりに大変 重要です。

農山漁村パートナーシップ推進宮城県大会共催団体の活動の一部を紹介します。それぞれの連絡先に、気軽にお問合せください。

(1) 宮城県生活研究グループ連絡協議会

農山漁村でよりよい生活や地域の活性化を目指し、活動する女性たちの組織です。各地域で、農産物の消費拡大、伝統料理の継承にむけて自己研 鑽を図っています。



令和5年度グループ員研修「柿渋で交流セミナー」 (R5.8月)

(2) JA(農協)女性部

JA女性部とは、JAをよりどころとして食や農、 くらしに関心のある女性が集い活動する組織です。 農家であるなしに関わらず誰でも気軽に参加で き、メンバーは20~90代まで幅広い世代の人が 活動を展開しています。



令和5年度JA女性部リーダー研修会 (R5.7月)

(3) JF(漁協)女性部

宮城県漁協女性部連絡協議会は、漁協の組合員またはその家族である女性を中心に〝私たちにできることからはじめよう With コロナ時代の新しい女性部活動″を合言葉に、強い意志を持ち、今だからできる事を女性部員一人一人が前向きに活動している組織です。



海難防止講習会(海上保安部指導のもと縄梯子作成) (R5.10月)

(4) みやぎアグリレディス 21

宮城県内の女性の農業委員、農地利用最適化推 進委員で構成している組織です。

各市町村においても、自分たちでできることから活動を広げ、地域から身近で頼られる存在を目指して活動しています。



地区別懇談会(R5.9月)

2024 農山漁村パートナーシップ推進 宮城県大会

日時 令和 6 年 1 月 1 1 日(木) 【 大 会】 午前11時から午後 1 時30分まで 日 (木) 【大 会】 午後 1 時30分から午後 3 時10分まで

場所 夢メッセみやぎ 本館会議棟1階 大ホール

(宮城県仙台市宮城野区港3丁目1-7)

13:30~13:40 宮城県農業・農村女性活躍表彰 表彰式

13:40~13:45 開会、挨拶

13:45~13:50 来賓祝辞、紹介

13:50~14:10 農山漁村女性の活動事例発表

14:10~15:10 講演 15:10 閉会

主 催:宮城県

プログラム

共 催:宮城県生活研究グループ連絡協議会、JAみやぎ女性組織協議会、宮城県漁協女性部連絡協議会、 みやぎアグリレディス21

後 援:東北農政局、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会宮城県本部、 全国共済農業協同組合連合会宮城県本部、宮城県漁業協同組合、宮城県森林組合連合会、

宮城県林業研究会連絡協議会、一般社団法人宮城県農業会議、宮城県農業士会、宮城県漁業士会、

宮城県認定農業者組織連絡協議会、みやぎの女性活躍促進連携会議(順不同)

テーマ 就農した 女性が働きやすければ、 みんなが働きやすくなる

矢島牧場

久 保 香代子 様

久保さんは、農林水産省で経営局就農女性課の女性活躍推進室長を務めた後、本庄市の実家で父親が経営する肉用牛農家「矢島牧場」を継承するために同省を辞めて就農し、女性活躍の支援側から実行する側になった貴重な経験を持っています。

幅広い視点から、「農村で女性が働くこと」について、お話していただきます。



農山漁村女性の活動発表

「食を通じて幸せを届ける-浜のお母さんの力で元気なまちづくり-」



南三陸おふくろの味研究会 小山 れえ子 様

東日本大震災では多く人が犠牲となり、避難生活を余儀なくされました。震災直後から、国、県、世界中の方々からご支援いただき少しずつ前を向いて活動できるようになりましたが、復興の見通しや住環境が整っていないことなどから人口の流出が進んでいました。そこで当会では「地元の海と山のなりわい関係者の連携を強めること」と「生産に携わる女性の活躍の場を広げ、地域内外を問わず人々が活発的に交流する活力ある地域をつくること」の2つを目的とし、民間会社から支援をいただきながら「食を通じて幸せを届ける」プロジェクトを開始しました。

プロジェクトでは、①生産・商品候補の発掘、②商品開発・製造・販売、③情報発信・ 交流の3つの柱を掲げ、南三陸町ならではの食材をアピールするため、前浜で水揚げ されるタコ、カキ、ホヤ、ムール貝の缶詰めの商品化に取り組みました。

令和5年度宮城県農業・農村女性活躍表彰【受賞者の活動概要】

最優秀賞 女性地域社会参画部門(個人)

 み うら えっ こ

 三浦 悦子 様 (気仙沼市)



夫の経営継承を機に就農、自らも認定農業者となってブロイラー経営に従事し、 計画的に出荷、中山間地域においてモデル的な経営を確立しています。

本吉町(現気仙沼市)において、女性初の認定農業者、農業委員、同町議会初の女性議員となり、女性参画が少ない分野で常に先頭を走り、パイオニアとして道を切り開いてきた功績は大きく、他にも様々な分野の審議会委員を歴任し、手腕を発揮してきました。

地域の生活研究グループや川内ブロイラー婦人部でも中心として活躍し、朝市夕市をはじめ、産業まつりでの出店等、地場産品の販売を通じて、農業の魅力

や楽しさを伝えるとともに、地域の活性化に貢献しています。

これらの活動を展開していく上で不可欠な家族の理解、特に夫の理解と協力については、誰もが認める見事なパートナーシップが築かれており、女性の社会参画に向けた模範となっています。

最優秀賞 女性起業・新規事業開拓部門

内海 光子 様 (加美町)



水稲と花の栽培が中心だった経営を、時流を捉え、きゅうりやトマトなどの園芸品目に転換し、その後、野菜苗と花苗の生産販売事業を拡大してきました。平成8年に「なえやさん内海農園」を設立し、現在はホームセンターを中心に出荷しています。

起業や複数回の経営転換を成功に導いてきたのは、常に新たな目標を立てて学ぶことで身に着けた知識と技術であり、蓄積された栽培記録の緻密さは大変素晴らしいです。

また、苗の顧客への栽培アドバイス、地域農業者への野菜栽培の講師という形で、経営の後継者のみならず、地域の女性農業者の育成にも貢献しています。

温かな人柄とリーダーシップは、産直組織「かあちゃんの会」、JAの女性部や生活研究グループでも生かされ、地域の活気を生み出しており高く評価されます。

最優秀賞 女性活躍経営体部門

高山 真里子 様 (仙台市)



会社員として半導体の設計や開発に携わった経験を生かし、販路をイメージした中で利益も計算しながら、飲食店と結びついた西洋野菜の契約栽培、直売所での販売を行うなど、都市近郊における女性の視点を生かした取組の先駆者として活躍しています。

また、「なのはな工房」、「フェムリエ仙台」の代表として組織を統括し、マルシェやイベントへの参加、県外視察など積極的に活動を展開して、地域女性農業者の交流を活性化するなど、若い女性農業者の育成にも貢献しています。その他、農地利用最適化推進委員、宮城県指導農業士としての活動、農業体験の受け入

れ等、幅広く活動しています。

女性が一人でも営農できる露地・施設栽培の体系に農産加工も加えた経営をライフステージごとに確立し、私生活とのバランスを大事にした営農スタイルは、就農者にとって理想のモデルとして高く評価されます。

◆宮城県農業・農村女性活躍表彰とは

平成2年度から始まった農村女性の活動を表彰する宮城県独自の事業「農業・農村活性化女性グループ等表彰」が令和2年度に名前を変え、宮城県農業・農村女性活躍表彰」として継続しています。農業・農村において社会参画や起業等で活躍する女性の個人やグループ等を表彰しています。

農業で頑張る 女性を応援

農業改良普及センター

農業技術・農業経営全般の御相談、生活研究グループに関するお問い合わせはこちらへ

宮城県大河原農業改良普及センター	地域農業第二班	TEL 0224-53-3519
宮城県亘理農業改良普及センター	地域農業班	TEL 0223-34-1141
宮城県仙台農業改良普及センター	地域農業班	TEL 022-275-8320
宮城県大崎農業改良普及センター	地域農業班	TEL 0229-91-0727
宮城県美里農業改良普及センター	地域農業班	TEL 0229-32-3115
宮城県栗原農業改良普及センター	地域農業班	TEL 0228-22-9437
宮城県登米農業改良普及センター	地域農業班	TEL 0220-22-8603
宮城県石巻農業改良普及センター	地域農業班	TEL 0225-95-7612
宮城県気仙沼農業改良普及センター	地域農業班	TEL 0226-25-8068

農業協同組合 JA女性部に関するお問い合わせは最寄りの農協へ

宮城県農業協同組合中央会	組織対策部	TEL 022-369-7301
仙台農業協同組合	営農部営農企画課	TEL 022-236-2413
名取岩沼農業協同組合	総務部企画管理課	TEL 022-384-5111
みやぎ亘理農業協同組合	営農部営農対策課	TEL 0223-34-0388
みやぎ仙南農業協同組合	総務部くらし相談課	TEL 0224-55-1265
古川農業協同組合	総務部組織広報課	TEL 0229-23-6511
加美よつば農業協同組合	管理部総務課	TEL 0229-66-1222
新みやぎ農業協同組合	総務部組織広報課	TEL 0228-25-9031
みやぎ登米農業協同組合	経済部あぐり推進課	TEL 0220-23-9815
いしのまき農業協同組合	総務部総務課	TEL 0225-22-1111

農業会議・農業委員会農業委員・推進委員の応募と農業者年金のご相談はこちらへ

宮城県農業会議・市町村農業委員会 農業委員会は各市町村(女川町を除く)の市役所・役場にあります。 一般社団法人宮城県農業会議 総務部 TEL 022-275-9164

漁業協同組合	JF女性部に関するお問い合わせは最寄りの組合へ

◎宮城県漁協女性部連絡協議会	TEL 0225-21-5740
●北部地区漁協女性部連絡協議会	TEL 0226-26-4720
〇唐桑支所女性部	TEL 0226-32-3180
〇気仙沼地区支所松岩女性部	TEL 0226-27-3030
〇気仙沼地区支所大島女性部	TEL 0226-28-2002
〇大谷本吉支所女性部	TEL 0226-44-2221
〇歌津支所女性部	TEL 0226-36-2002
〇志津川支所女性部	TEL 0226-46-2800
〇志津川支所戸倉女性部	TEL 0226-46-9211
●中部地区漁協女性部連絡協議会	TEL 0225-24-1145
〇雄勝町東部支所女性部	TEL 0225-61-3025
〇網地島支所女性部	TEL 0225-49-2211
〇表浜支所女性部	TEL 0225-46-2136
〇石巻地区支所女性部	TEL 0225-24-0391
〇石巻市東部支所女性部	TEL 0225-90-2131
〇石巻湾支所女性部	TEL 0225-24-2111
〇寄磯支所女性部	TEL 0225-48-2251
●南部地区漁協女性部連絡協議会	TEL 022-361-9210
〇塩釜地区支所浦戸東部女性部	TEL 022-369-2111
〇塩釜地区支所浦戸女性部	TEL 022-369-2211
〇七ケ浜支所女性部	TEL 022-349-6222
○亘理支所女性部	TEL 0223-35-2111



本パンフレットに関するお問い合わせ

宮城県農政部農業振興課

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号

(令和5年12月発行)

TEL 022-211-2836 FAX 022-211-2839

ホームページ https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosin/

